



コミュニティだより



発行者：新津中央コミュニティ協議会（新潟市秋葉区新津本町1-2-39 TEL 0250-24-4219） 発行人：太田清志



【8月8日の「新津あおぞら市場」に、新津中央コミュニティ協議会として初めてのブースを開設しました。猛暑の中でしたが、健康福祉部の皆さんの運営のもと、秋葉消防署や新津勤労者医療協会の協力を得ながら、AED操作講習や健康測定会が行われました。多くの方々が訪れ、にぎわいました。】

巻頭言

コミ協活動を支える貴い汗

新津中央コミュニティ協議会 事務局長 後藤 洵



猛暑に見舞われた8月8日(日)、今年2回目の「新津あおぞら市場」が開かれました。このイベントに我が中央コミ協が初めて出店参加をしました。別に物を売ったわけではありませんが、健康福祉部が中心となり、AEDを使った救急救命の講習と健康測定を実施し大変好評でした。それにしても、実施するまでの部長を始めとする部員諸氏の苦勞と、何よりも当日、酷暑の中で1日仕事をしてくれた部員の方々には頭が下がります。コミ協は自分たちの手で地域を良くするための組織ですが、その陰に、このような無償の貴い汗を流してくれる人々の支えがあることを大勢の人にぜひ知ってほしいと思います。

おらが町内会の活動紹介 (秋葉1丁目、2丁目、3丁目)

伝統の秋葉三町内会 合同「秋葉地区ふれあい運動会」



秋葉1丁目、2丁目及び3丁目町内会は、毎年合同で8月には納涼盆踊り大会、そして10月には秋葉地区ふれあい運動会を開催しています。10月に行われる運動会ではお菓子釣りレースや縄跳びお菓子取りレース等の子供による競技や障害物ビール早取り、ボール包み豆拾いレースといった大人向けの競技が行われます。一般女子による尻圧ドリブル（徒競走の途中で風船をふくらませて、お尻で体重をかけて割る）のようなユーモラスなゲームもあります。

また各町内対抗のムカデレース、水くみレース、丸太切り、玉上げ、綱引き、段ボール送りでは、それらの総合得点により優勝チームが決まります。昼食の時、子供には「カレー」、大人には「豚汁」がふるまわれます。

さらに一昨年より、全競技終了後に秋葉消防署の協力を得て秋葉町内自主防災会主催による「防災訓練（消火訓練、応急手当訓練、救出救護訓練等）」を行い、地域住民の防災意識の高揚といざという時に的確に対応できるようにすることにしています。

核家族化・高齢化が進み、近所づきあいが希薄になっている昨今ですが、秋の体育シーズンに大人も子供も運動会の日を楽しく過ごすことにより、参加される方々の健康作りと共に地域の人々の融和が一層進むことが期待されます。なお、本年の「秋葉地区ふれあい運動会」は、10月10日(日)に旧老人福祉センターのゲートボール場を会場として開催する予定です。

(文；吉田 信威)

※ 写真は一昨年及び昨年の運動会時に撮影したものの。

新津第一小学校

児童のページ

(ぼくの夢・私の夢)



いやしの「ねこカフェ」

6年 須山 詢子

私は、将来「ねこカフェ」をひらきたいです。理由は、私はねこが大好きだからです。そして、「カフェ」にする理由は、お茶をゆっくり飲みながら、ねこにふれ合ってもらい、来た人がいやされるようにしたいからです。ねこは、10匹ぐらい飼いたいです。

この「ねこカフェ」をひらくために、まず、ねこをたくさん飼いたいです。世話のやり方をしっかりと覚えたいです。そして、カフェに必要なおかし作りを覚えたいです。今までは母の手伝いしかしたことがないので、一人で作れるようにしたいです。



考古学者になりたい

6年 齊藤 誠人

ぼくの夢は、考古学者になることです。古代の生き物や恐竜の化石が好きだからです。化石展があると、見に行きます。ティラノサウルスやTレックスの化石をじっと見てるといふようなことが頭に浮かんできます。いん石がしょう突して恐竜が絶滅していなければ、現代はどうなっていたのだろう。野生で新津の町にもあらわれたら、ふみつけられそうになってこわいかもしれない…。

ぼくは、生き物を探しに出かけるのが好きです。化石を自分自身で見つけることができれば、すごくうれしいと思います。考古学者になるために、しっかり勉強していきたいです。

おらが町内会の活動紹介 (新津本町3丁目1区)

伝統芸能「里神楽」の継承



当町内には、伝統芸能としての里神楽があります。郷土芸能として伝統を継承しながら、新しい感覚を取り入れて活動しています。毎年8月19、20日の「にいつ夏まつり」には、町内各位のご協力を得て、神楽有志、PTAを中心に小・中・高生、一般の方が参加します。



19日は午前中、当町内各戸お祓い、夕方からは堀出神社本殿で神楽奉納、神楽殿にて里神楽奉納後、他町内各戸お祓い、当町内6ヶ所をお祓いしました。20日は朝から残りの他町内の各戸お祓い、駅前の保育園を訪問し園児たちに神楽舞を見てもらい大好評でした。夕方からは祭りのクライマックスである宮上り神社御輿を守護先導し、新町から一の町までの各町内のお祓い、各町内屋台で神楽舞、福まきを行い、最後は神社本殿で

神楽舞を奉納し今年の祭りが無事終了となりました。

また、当町内の神楽舞は2009年4月に水と土の芸術祭に登録、2010年4月には新津地域交流センターのオープニングイベントに参加しました。なお、当町内には、立派な子供御輿が寄進されています。「にいつ夏まつり」では、PTAが中心となり神社参拝後、幼児や小学生により御輿の町内引き回しが賑やかに行われました。

(文；中村 信也)



新津第一小学校

児童のページ

(ぼくの夢・私の夢)

夢はデザイナー

6年 長谷川玲奈



夏休みにネイルアートを作りました。ネイルチップにマニキュアをぬってかわかないうちにシールやデコレーションストーンをのせて作りました。

色やシールをおくいちを考えるのが楽しかったです。だから、将来もこういうデザインをする仕事がしたいです。一番私がデザインしたいのは服です。もしデザインがうまくできたら、世界に一つしかないキャラクターと服屋をつかって店をはじょうさせたいです。ゲームコーナーやコラボ服もつくりたいです。着た人が元気になる服をつくれるように今からがんばりたいです。

プロ野球選手

6年 伊藤 大起



ぼくの将来の夢は、プロ野球選手です。ぼくは毎日秋葉野球クラブで野球の練習をしています。野球の試合でヒットやホームランを打った時が一番楽しいです。チームには、おもしろい仲間がたくさんいます。試合で応援してくれるのでうれしいです。ぼくには、あこがれる野球選手がいます。その選手の名前は、ラミレス選手です。ぼくがプロ野球選手になればラミレス選手のようにホームランをいっぱい打って、お金をガッポリかせいでおいしい物を腹いっぱい食べたいです。そして、応援してくれた人達にも、恩返しをしたいです。

専門部の活動状況について

◇環境緑化部： 6月15日(火)午後7時から新津地域交流センター302会議室にて、日本自然環境専門学校長の五十嵐さんをお迎えして「セイタカアワダチソウの生態と自然に及ぼす影響」をテーマに部員の勉強会を実施しました。

◇文化教養部： 7月23日(金)・31日(土)・8月7日(土)の3回シリーズで、新潟市環境部の松田環境政策課長、新潟市消費者協会の桜井会長、NPO団体「新潟気軽に省エネくらぶ」の波多野代表の各氏と当コミ協文化教養部長の吉田信威さんを講師に省エネ入門講座が開講されました。



事務局だより

◆秋葉区地区懇談会開催される

7月15日(木)午後7時から、新津地域交流センター多目的ホールにて、平成22年度秋葉区地区懇談会が開催されました。区役所から藤田区長さんをはじめ各課の課長さん等15人が、当コミ協関係からは28人が出席しました。

区役所からの行政説明に続く質疑応答では、新津川の環境維持、公共建造物の省エネ化などについて活発な意見交換がなされました。



◆コミ協のぼり旗ができました

新津中央コミ協ののぼり旗ができあがりしました。もえぎ色の下地に、黄色で当コミ協のスローガン「健康で安心安全な明るい地域づくり」が、白で新津中央コミュニティ協議会名が鮮やかに染め抜かれています。先の「新津あおぞら市場」の当コミ協ブースで早速活用されました。

◆広報委員紹介

昨年度新設された広報委員会は、各専門部から選出された以下の方々により構成されて

います。見やすい、読みやすい広報紙づくり に心掛けながら、「新津中央コミュニティだより」第4号からの編集に携わっています。

今年度から年間の定期発行回数をこれまでの2回から3回に増やすとともに、各専門部の活動案内等に特化した特別号を随時発行し全戸配布いたします。



	氏 名	所属専門部
委員長	田中 大介	防犯防災部
副委員長	吉川 義延	環境緑化部
委員	佐々木 昇	健康福祉部
委員	瀧澤 和子	文化教養部
世話役	清野 展	副会長

【編集後記】 コミュニティだより第7号をお届けします。今号から「おらが町内会の活動紹介」コーナーを新設しました。これからも町内会の特色ある取組を随時紹介していく予定ですのでご期待ください。紙面の内容の一層の充実に向け、忌憚のないご意見を広報委員会宛お寄せいただければありがたいです。(佐々木記)

(注) 「新津中央コミュニティだより」の発行は、新潟市からの補助金により賄われています。